

## 第三部 集計結果

## 1. 調査票および単純集計

# 高齢期の生活や資産活用に関する調査

平成11年10月

調査実施機関：日本大学理工学部都市計画研究室

ご多用中にもかかわらず、調査にご協力いただきますことを御礼申し上げます。

本調査は、厚生省の科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）の研究助成により、調査実施機関として日本大学理工学部都市計画研究室が実施するものです。

本調査の目的は、長寿社会における望ましい老後生活のあり方をさぐるため、皆様の日常生活および将来の意向について、ご意見をおうかがいするものです。

調査にご協力をお願いする方は、住民基本台帳から無作為で抽出した中野区内の50歳以上の世帯主であり、他意はございません。また、ご回答いただきました内容はコンピュータで集計し、統計的に処理いたしますので、皆様のお名前や個人的な情報が外部に出るなどのご迷惑をおかけするようなことは決してございません。どうぞ、ありのままをお答えください。

## 〔ご記入に際してのお願い〕

- ・ご記入は濃い鉛筆か黒いボールペンでお願いいたします。
- ・封筒の宛名に記入された世帯主あるいは世帯主に準ずる方（以降「あなた」と表記します）にご回答をお願いいたします
- ・各質問の回答は、あなたのご意見に近いものを選び、あてはまる回答項目の番号に○印を付けていただく形式と、□の中に数字を記入していただくものがあります。
- ・○印でお答えいただく回答では、（○は1つ）や（○はいくつでも）など○印の個数が指定されていますので、その指示にしたがってお答えください。
- ・質問によっては、一部の方にだけおたずねするものがあります。この場合は矢印（→）の指示がありますので、その指示にしたがってお進みください。
- ・「その他」に○印を付けられた方は、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
- ・このアンケートに不明の点などがございましたら下記のの問い合わせ先までご連絡ください。

※ご記入が終わりましたら、もう一度、記入間違いや記入漏れがないかどうかお確かめのう

え、アンケート用紙を同封の返送用封筒（切手不要）にて、**10月22日（金）**

までにご投函ください。

※アンケートは無記名ですが、用紙返送の際に添付のシール（住所と氏名が書いてあります）を同封して返送していただければ、それにより謝品を発送させていただきます。

謝品は、A. 50度数のテレホンカード または B. 図書券500円分です。

ご希望の品をAかBでシールの裏にご記入下さい。

## 問い合わせ先

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部都市計画研究室「高齢期の生活や資産活用状況調査」研究事務局

担当：助教授 根上彰生（ねがみ あきお）・博士課程 劉銑鍾（ゆー そんじょん）

TEL 03-3259-0700

FAX 03-3293-8253

E-Mail: rdr98001@arch.est.nihon-u.ac.jp

◆現在のお住まいについておうかがいします

問1. あなたが現在のお住まいに住んで何年間になりますか。(○は1つ)

1) 生まれてからずっと	8.0%(23)	2) 30年以上	39.5%(113)
3) 20年～30年	15.4%(44)	4) 10年以上～20年未満	15.4%(44)
5) 5年以上～10年未満	7.7%(22)	6) 5年未満	12.9%(37)
不明	1.0%(3)		

問2. あなたは近隣との付き合いは多い方ですか。(○は1つ)

1) 付き合いが多い	25.5%(73)	2) 多少は付き合いがある	57.0%(163)
3) ほとんど付き合いはない	13.6%(39)	4) 全くない	2.8%(8)
不明	1.0%(3)		

問3. あなたは現在住んでいる地域に対して愛着がありますか。(○は1つ)

1) 愛着が強い	33.6%(96)	2) ある程度愛着がある	50.0%(143)
3) あまり愛着はない	12.6%(36)	4) 全く愛着がない	2.4%(7)
不明	1.4%(4)		

問4. あなたは現在のお住まいに満足していますか。(○は1つ)

1) 満足している	32.2%(92)	2) どちらかといえば満足して	32.2%(92)
3) 多少不満がある	26.2%(75)	いる	
4) 不満が多い	7.3%(21)	不明	2.1%(6)

付問1. 不満があるとしたら、主にどのようなところですか。(○はいくつでも)

1) 広さ	46.9%(45)	2) 間取り	37.5%(36)
3) 設備(台所・空調設備等)	31.3%(30)	4) 古さ	43.8%(42)
5) 立地条件(駅から遠い等)	9.4%(9)	6) 周辺環境	21.9%(21)
7) 近隣関係	15.6%(15)	8) 住居費の負担	11.5%(11)
9) その他(道路が狭い)	7.3%(7)	不明	1.0%(1)
(中野区が好きではない)			

問5. あなたは将来、転居することを考えていますか。(○は1つ)

1) 具体的に転居を考えている	4.9%(14)	2) できれば転居したい	16.8%(48)
3) 住み続けたいが、転居の可能性がある	18.9%(54)	4) 住み続けたい	56.6%(162)
		不明	2.8%(8)

問6. あなたのお住まいの建て方は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

1) 一戸建て	65.4%(187)	2) アパート・長屋・タウン	6.7%(18)
3) マンション・住宅団地(公団・公社等)	16.8%(48)	ハウス	
5) その他(都営住宅、天理教会内、2階を貸している、1階自宅、2階共同住宅)	3.8%(11)	4) 店舗・事務所などとの併用住宅	5.9%(17)
		不明	1.7%(5)

問7. あなたのお住まいの所有関係は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

1) 自己所有(家族名義含む)	82.2% (235)	2) 民間の賃貸住宅	8.7% (25)
3) 公団・公社・公営等公共の賃貸住宅	3.1% (9)	4) 社宅・寮・官舎	3.5% (10)
5) その他(母名義の家に住む 宗教法人教会 自宅(借地))	1.0% (3)	不明	1.4% (4)

問8. 問7で2)～4)とお答えの方におたずねします。家賃は毎月いくらですか。(○は1つ)

1) 1万円未満	2.3% (1)	2) 1～5万円未満	29.5% (13)
3) 5～10万円未満	22.7% (10)	4) 10～15万円未満	25.0% (11)
5) 15～20万円未満	11.4% (5)	6) 20万円以上	4.5% (2)
		不明	4.5% (2)

付問1. あなたは将来、住宅を取得するつもりはありますか。(○は1つ)

1) 購入したい	29.5% (13)	2) どちらかといえば購入したい	18.2% (8)
3) 購入するつもりはない	34.1% (15)	4) わからない	13.6% (6)
		不明	4.5% (2)

問9. 今のお住まいの取得方法は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

1) 相続した	28.9% (68)	2) 購入した	46.8% (110)
3) 買い替えた	10.6% (25)	4) その他	11.9% (28)
不明	1.7% (4)	(娘の嫁家 母の所有 夫が購入したものを死亡後相続した 土地を相続し建てた 土地は相続、 建物は私個人にて建てる 土地は相続、建物は建替え相続した後、 建替えた 都市計画により転居 注文住宅 親の名義 親の存命中に改築し自己名義とした 親に建ててもらった 親との同居 建て替え 借地に建てた 使用貸借で家を建てた 義父の土地に自分で建てた)	

問10. 問9で2)または3)とお答えの方におうかがいします。現在のお住まいを購入したときの世帯主の年齢はおよそ何歳ですか？

1) 20歳～29歳	5.2% (7)	2) 30歳～39歳	28.1% (38)
3) 40歳～49歳	32.6% (44)	4) 50歳～59歳	20.7% (28)
5) 60歳～69歳	6.7% (9)	6) 70歳～79歳	1.5% (2)
		不明	5.2% (7)

問11. あなたの現在お住まいのおおよその資産価値はいくらぐらいとお考えですか。

1) 1000万円以下	1.3% (3)	2) 1000万円～2000万円	8.5% (20)
3) 2000万円～4000万円	14.9% (35)	4) 4000万円～5000万円	7.7% (18)
5) 5000万円～7000万円	20.9% (49)	6) 7000万円～1億円	11.1% (26)
7) 1億円以上	14.5% (34)	不明	21.3% (50)

問12. あなたは現在のお住まいについて、買い替えのお考えはありますか。(○は1つ)

1) 具体的に検討中	2.6% (6)	2) 将来検討したい	18.7% (44)
3) 買い替えるつもりはない	56.6% (133)	4) わからない	15.7% (37)
		不明	6.4% (15)

問13. 住宅購入の際に、住宅ローンを利用しましたか？(○は1つ)

住宅ローンの利用	1) あり	48.9% (115)	→ 次ページ問14へ
	2) なし	35.3% (83)	
	不明	15.7% (37)	

付問1. 住宅ローンの返済期間は何年ですか？期間が異なるローンがある場合は最も長いものをお答え下さい。

住宅ローンの返済期間  (平均)20.7  年

付問2. 住宅ローンの返済は終了されていますか？返済中の方はおおよその返済月額をご記入下さい。なお、ボーナス払いがある場合は、年間の返済額を月額に換算してお答え下さい。

住宅ローンの返済 (どちらかに○)

1) 返済を終了した	53.9%
2) 返済中である	40.0%
不明	6.1%

毎月返済額平均  13.8  万円

次のページ問14へお進みください

◆公的年金と生活資金についておうかがいします

問 14. 公的年金には、「国民年金」「厚生年金」「共済年金」などがあります。

あなたが現在加入している公的年金を、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

1) 国民年金 (自営業者、無職の主婦、学生などが加入)	41.6% (119)	2) 厚生年金 (会社員が加入)	48.3% (138)
3) 共済年金 (公務員などが加入)	18.2% (52)	4) わからない	1.0% (3)
不明	2.8% (8)	5) その他	6.6% (19)

(年金関連は加入していません  
団体 退職共済  
個人年金  
企業年金  
医者年金  
遺族年金)

問 15. あなたまたは配偶者は、現在公的年金 (国民年金、厚生年金、公務員共済年金、労災年金、恩給など) を受給していますか。

1) 受給している	51.0% (146)	2) 受給していない	46.5% (133)
不明	2.4% (7)		

→ 問16へ

→付問1. 受給している公的年金の額は、1か月あたりの額でおよそどれぐらいになりますか。ご夫婦で受給されている場合は合算した金額でお答えください。(○は1つ)

1) 5万未満 (年額では、60万未満)	9.6% (14)
2) 5万円～10万円未満 (年額では、60万円～120万円未満)	17.1% (25)
3) 10万円～15万円未満 (年額では、120万円～180万円未満)	19.9% (29)
4) 15万円～20万円未満 (年額では、180万円～240万円未満)	8.2% (12)
5) 20万円～25万円未満 (年額では、240万円～300万円未満)	21.2% (31)
6) 25万円～30万円未満 (年額では、300万円～360万円未満)	11.0% (16)
7) 30万円～40万円未満 (年額では、360万円～480万円未満)	9.6% (14)
8) 40万以上 (年額では、480万以上)	0.7% (1)
9) わからない	0.0% (0)
不明	2.7% (4)

→付問2. あなたの世帯の主な収入は次のうちどれですか。次の1)～10)のうち収入金額の多い順に右の四角に番号を入れてください。(番号は5つまで)

1 番目の主な収入源				
1) 公的年金	53.4% (78)	2)		
3) 個人年金	1.4% (2)	2) 企業年金	1.4% (2)	
5) 勤労収入	24.0% (35)	4) 貯蓄の取り崩し	0.0% (0)	
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	13.7% (20)	6) 利子・配当収入	0.0% (0)	
9) 子供からの援助 (親族を含む)	2.1% (3)	8) 不動産の売却	0.0% (0)	
不明	1.4%	10) その他	2.7% (4)	

(株取引  
シルバー人材センター配分金  
事業所得、アルバイト)

2 番目の主な収入源

1) 公的年金	29.5% (43)	2) 企業年金	11.0% (16)
3) 個人年金	6.8% (10)	4) 貯蓄の取り崩し	8.9% (13)
5) 勤労収入	8.9% (13)	6) 利子・配当収入	1.4% (2)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	15.1% (22)	8) 不動産の売却	0.0% (0)
9) 子供からの援助(親族を含む)	2.1% (3)	10) その他	0.7% (1)
不明	15.8% (23)		

3 番目の主な収入源

1) 公的年金	5.5% (8)	2) 企業年金	6.8% (10)
3) 個人年金	6.8% (10)	4) 貯蓄の取り崩し	11.6% (17)
5) 勤労収入	4.1% (6)	6) 利子・配当収入	6.8% (10)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	4.1% (6)	8) 不動産の売却	0.0% (0)
9) 子供からの援助(親族を含む)	0.7% (1)	10) その他	0.7% (1)
不明	51.4% (75)		

4 番目の主な収入源

1) 公的年金	0.0% (0)	2) 企業年金	0.7% (1)
3) 個人年金	0.7% (1)	4) 貯蓄の取り崩し	4.8% (7)
5) 勤労収入	2.1% (3)	6) 利子・配当収入	5.5% (8)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	1.4% (2)	8) 不動産の売却	0.0% (0)
9) 子供からの援助(親族を含む)	1.4% (2)	10) その他	0.7% (1)
不明	82.9% (121)		

5 番目の主な収入源

1) 公的年金	0.0% (0)	2) 企業年金	0.7% (1)
3) 個人年金	0.0% (0)	4) 貯蓄の取り崩し	0.7% (1)
5) 勤労収入	0.0% (0)	6) 利子・配当収入	4.8% (7)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	0.0% (0)	8) 不動産の売却	0.0% (0)
9) 子供からの援助(親族を含む)	1.4% (2)	10) その他	0.0% (0)
不明	92.5% (135)		

▶付問3. あなたの世帯の生活費は、1か月あたりおよそいくらぐらいですか。

1か月あたり 29.5 万円くらい

▶付問4. あなたの現在の生活は、経済的にゆとりあるものだとお考えですか。

次の中からお答えください。(○は1つ)

1) ゆとりがある	6.8% (10)	2) ある程度ある	48.6% (71)
3) あまりない	28.1% (41)	4) ゆとりがない	→ 付問5へ
不明	2.7% (4)		13.7% (20)

付問5. あとどのくらいの収入があればゆとりが生ずると思いますか。

収入 14.9 万円の増加(毎月)



▶付問6. 将来の生活費に対する不安はありますか？（○は1つ）

1) 不安がある	23.3% (34)	2) 多少不安がある	42.5% (62)
3) 不安はあまりない	18.5% (27)	4) 不安はない	6.8% (10)
不明	8.9% (13)		

▶次のページ問17へお進みください

問16. あなたは将来（65歳以降）の生活費を、どのような手段でまかないたいと思いますか。次の1)～10)のうち、主な収入として期待するものについて、金額の多い順に右の四角に番号を入れてください。（番号は5つまで）

--	--	--	--	--

将来の1番目の主な収入源

1) 公的年金	50.4% (67)	2) 企業年金	6.0% (8)
3) 個人年金	3.0% (4)	4) 貯蓄の取り崩し	3.8% (5)
5) 勤労収入	19.5% (26)	6) 利子・配当収入	0.0% (0)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	9.8% (13)	8) 不動産の売却	3.8% (5)
9) 子供からの援助（親族を含む）	1.5% (2)	10) その他（資産運用）	0.0% (0)
不明	2.3% (3)		

将来の2番目の主な収入源

1) 公的年金	13.5% (18)	2) 企業年金	11.3% (15)
3) 個人年金	23.3% (31)	4) 貯蓄の取り崩し	15.0% (20)
5) 勤労収入	13.5% (18)	6) 利子・配当収入	0.8% (1)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	5.3% (7)	8) 不動産の売却	0.8% (1)
9) 子供からの援助（親族を含む）	2.3% (3)	10) その他（資産運用）	2.3% (3)
不明	12.0% (16)		

将来の3番目の主な収入源

1) 公的年金	9.8% (13)	2) 企業年金	1.5% (2)
3) 個人年金	9.8% (13)	4) 貯蓄の取り崩し	22.6% (30)
5) 勤労収入	10.5% (14)	6) 利子・配当収入	5.3% (7)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	6.0% (8)	8) 不動産の売却	0.0% (0)
9) 子供からの援助（親族を含む）	3.0% (4)	10) その他（資産運用）	0.8% (1)
不明	30.8% (41)		

将来の4番目の主な収入源

1) 公的年金	4.5% (6)	2) 企業年金	1.5% (2)
3) 個人年金	3.0% (4)	4) 貯蓄の取り崩し	10.5% (14)
5) 勤労収入	5.3% (7)	6) 利子・配当収入	4.5% (6)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	5.3% (7)	8) 不動産の売却	2.3% (3)
9) 子供からの援助（親族を含む）	2.3% (3)	10) その他（資産運用）	0.0% (0)
不明	60.9% (81)		

将来の5番目の主な収入源

1) 公的年金	2.3% (3)	2) 企業年金	0.8% (1)
3) 個人年金	0.8% (1)	4) 貯蓄の取り崩し	3.8% (5)
5) 勤労収入	1.5% (2)	6) 利子・配当収入	2.3% (3)
7) 地代・賃貸料などの不動産収入	1.5% (2)	8) 不動産の売却	3.8% (5)
9) 子供からの援助（親族を含む）	3.8% (5)	10) その他（資産運用）	3.8% (5)
不明	75.9% (101)		

付問1. 将来（65歳以降）のゆとりある生活を送るために、十分な貯蓄ができると思いますか？（○は1つ）

1) 十分にできる	3.0% (4)	2) ある程度できる	33.1% (44)
3) あまり貯蓄できない	36.1% (48)	4) 貯蓄はできない	26.3% (35)
不明	1.5% (2)		

次のページ問17へお進みください

◆次の説明をお読みになり、質問にお答えください

### リバース・モーゲージとは

豊かな老後を実現するためのひとつの方策として、一部自治体や金融機関等で実施されているリバース・モーゲージ制度（居住用不動産の資産活用）があります。「リバース・モーゲージ」とは、自宅に住み続けながら、自宅の資産価値を現金化していくための方法であり、その基本的な特徴は次のとおりです。

特徴1：自宅を担保に融資を受けることにより、自宅に住み続けながら、月々定額の融資金を受け取ります。

特徴2：利用者が死亡された場合や転居する場合には、自宅を売却することにより、融資金の元本と金利の返済を一括して行います。配偶者がいる場合は配偶者の死亡時まで融資は継続されます。

特徴3：担保不動産の売却額が返済額を上回っていれば、その差額は相続人（転居の場合はご本人）にお返しします。

問17. このようなリバース・モーゲージ制度を設けている自治体が東京都内で武蔵野市や世田谷区をはじめ、13か所があります。こうした制度があることをご存知ですか。（○は1つ）

1) 知っている	38.1% (109)	不明	2.4% (7)
2) 知らない	59.4% (170)		

問18. リバース・モーゲージ制度は説明のように、自宅に住み続けながら自宅の資産価値を現金化し、安定的な収入を得る仕組みです。また、公的機関の試算によると、時価4000万円の住宅を所有する65歳の高齢者の場合、月額9.8万円を終身受け取ることができると試算されています。あなたはこのような制度に関心はありますか。（○は1つ）

1) 関心はある	14.7% (42)	2) 関心は多少ある	22.9% (64)
3) あまり関心はない	30.8% (86)	4) 関心はない	31.2% (87)
不明	2.4% (7)		

付問1. あなたはこの制度を利用したいと思いますか。（○は1つ）

1) 利用している	0.3% (1)	2) 利用したい	7.7% (22)
3) 利用したいと思わない	59.1% (169)	4) わからない	30.4% (87)
不明	2.4% (7)		

→付問2. そのように思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1) 年金やその他の収入で十分だと思うから 36.7% (62)	2) 住宅・宅地は子供に残したいから 56.8% (96)
3) いざというときの資金は用意してあるから 14.8% (25)	4) 住宅・宅地に手をつけるのは不安だから 20.1% (34)
5) 住宅・宅地の担保価値があまりないから 12.4% (21)	6) 内容がよく理解できず、不安があるから 13.6% (23)
7) その他 10.1% (17)	不明 0.6% (1)

(必要になったら考える  
社宅とおなじだから、教会に住んでいる  
自分の家ではないので  
自宅を所有していない  
自宅が無い  
持家がないので  
事業継続のため  
資産がないから  
現在投資等のマイナスだから  
区に寄付をするから  
家屋のみなので  
めんどうだから  
アパート収入を考える)

問19. この制度以外に、将来土地や家屋などを生活のために運用する考えはありますか。現在土地や家屋を持っていなくても、将来取得するつもりがある場合は、将来のことを考えてお答えください。(○は1つ)

1) いざとなったら処分するなどして、生活費にあ てる 22.0% (63)	2) 老後の世話や介護をしてくれる人や 機関にゆずる 9.4% (27)
3) 住み続けながら、土地や家屋を担保にして生活 費等の融資を受ける 4.2% (12)	4) 土地や家屋の資産は持たないつもり 2.8% (8)
5) 有料老人ホームや老人マンション等に移る資金 にする 5.2% (15)	6) 特に運用したいと考えない 40.9% (117)
不明 2.1% (6)	7) その他 4.2% (12)

(別荘地を売ろうとしているが、していない。複数の不動産を運用するか処分する  
宗教法人の財産で個人では持てない  
時期に応じて対処する  
子に相続  
健康上等の理由でやむ得ない時だけ処理  
する。  
子供に負担をかけたくない。  
アパートを造りたい)

- 付問2. 1) 住宅は資産として保有するものである 40.6% (116)  
 2) 住宅は快適に生活できれば良く、資産価値はあまり重要ではない 50.0% (143)  
 不明 2.8% (8)
- 付問3. 1) 住宅は持ち家の方が安心であり、持ち家に住みたい 73.4% (210)  
 2) 家賃が妥当で質が満足できれば、賃貸住宅でもかまわない 16.1% (46)  
 不明 3.1% (9)
- 付問4. 1) できるだけ1ヶ所に定住するほうが望ましい 64.7% (185)  
 2) ライフステージにあわせて適切な住宅に住み替えるほうが合理的である 27.3% (78)  
 不明 1.0% (3)
- 付問5. 1) なるべく多くの資産を子供に残したい 34.3% (98)  
 2) 親の資産は老後を豊かに過ごすために使用し、子供に残す必要はない 54.5% (156)  
 不明 4.2% (12)
- 付問6. 1) 親の老後の世話は子供がするのが望ましい 17.5% (50)  
 2) 子供の世話にならなくて済むように福祉を充実させるべきである 75.9% (217)  
 不明 1.0% (3)
- 問24. UN (国際連合) では「高齢者の基準年齢 (高齢者といえる年齢)」について65歳以上を基準として定めています。あなたが考えている「高齢者の基準年齢」は何歳ですか。

満 68.5 歳から

◆最後に、世帯主ご自身のことについてうかがいます

F1. 世帯主の性別 (○は1つ) 1) 男性 55.8% (158) 2) 女性 44.8% (128)

F2. 世帯主の年齢 (○は1つ)

1) 50歳～54歳 21.0% (60)	2) 55歳～59歳 19.9% (57)	3) 60歳～64歳 16.8% (48)	4) 65歳～69歳 16.4% (47)
5) 70歳～74歳 14.3% (41)	6) 75歳～79歳 6.6% (19)	7) 80歳以上 4.9% (14)	

F3. 子供の有無は(同居・別居を問わない)(○は1つ) 1) 子供有り 93.0% (266) 2) 子供無し 7.0% (20)

F4. 同居世帯の構成 (○は1つ)

1) 単身世帯 10.8% (31)	2) 夫婦のみ 10.5% (30)
3) 夫婦と未婚の子供 40.9% (117)	4) 親と同居 (2世帯家族) 6.6% (19)
5) 子供世帯と同居 (2世帯家族) 10.5% (30)	6) 親及び子供世帯との同居 (3世帯家族) 8.0% (23)
7) その他 (妹と同居 4.5% (13) 妹、親、妹家族 8) 母子家庭 6.6% (19) 単身と未婚の子供と義姉 不明 1.4% (4) 親と未婚の子供 親と妹家族 主人単身赴任、 子供と一人同居 子供、 夫の姉 姉と同居 教会住み込み者と一緒 (10名))	

F5. ご職業についてお伺いします。単身の場合はご自身の職業を、配偶者がいらっしゃる場合は家計を主として支えている方の職業を次の中から1つお答えください。なお、複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いものを、現在無職の場合は、これまでの職業で一番長かったものを1つお答えください。(○は1つ)

1) 農林漁業(家族従事者を含む)	0.0% (0)	2) 自営業・自由業	31.1% (89)
3) 会社・団体役員	9.1% (26)	4) 会社員	29.0% (83)
5) 公務員	10.0% (29)	6) 臨時・パート・内職	6.3% (18)
7) 就業経験なし	4.5% (13)	8) その他	8.7% (25)
不明	1.4% (4)	(店員 主婦 主婦 私立高校教員 教会長 アパート)	

F6. 世帯主の方は、現在お仕事(臨時職を除く)に就いていらっしゃいますか。すでに、退職なさった方は「2) 就いていない」をお選びください。(○は1つ)

1) 就いている	59.4% (170)	2) 就いていない	38.5% (110)
		不明	2.1% (6)

F7. 立ち上がったことで恐縮ですが、あなたの世帯全体の金融資産(預貯金・株式・債券・投資信託・保険)の合計額は、およそいくらぐらいになりますか。(○は1つ)

1) 金融資産はない	7.3% (21)	2) 500万円未満	7.3% (21)
3) 500万円～1,000万円未満	17.1% (49)	4) 1,000万円～3,000万円未満	
5) 3,000万円～5,000万円未満	12.2% (35)		23.4% (67)
7) 1億円以上	5.9% (17)	6) 5,000万円～1億円未満	11.2% (32)
不明	1.78% (5)	8) わからない	10.8% (31)

F8. あなたの世帯全体の総収入額は、およそどのぐらいになりますか。(○は1つ)

1) 100万円未満	5.2% (15)	2) 100万円～200万円未満	9.1% (26)
3) 200万円～300万円未満	8.7% (25)	4) 300万円～400万円未満	6.3% (18)
5) 400万円～500万円未満	10.1% (29)	6) 500万円～700万円未満	11.9% (34)
7) 700万円～1,000万円未満	13.6% (39)	8) 1,000万円～1,500万円未満	
9) 1,500万円以上	9.1% (26)		11.9% (34)
不明	1.4% (4)	10) わからない	9.4% (27)

F9. 最後に、老後の生活や資産活用、リバース・モーゲージ制度などについて、どんなことでも結構ですので、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

長い時間ご協力ありがとうございました。

記入間違いや記入漏れがないかどうかもう一度ご確認のうえ、同封の返送用封筒(切手不要)にて

**10月22日(金)** までにご投函ください。

## 2. 自由回答

### 1. 経済的な面（年金・税金・生活費）

・老後の年金と家賃収入との生活ですが税金が高く老人の優待もなく、税金の為にあくせくしています。もう少し税金を考えていただきたいと思います。家を買うため節約をして、家を得ても、固定資産税が高く、これなら公営住宅に入っている方が楽なように感じています。

・年齢的には80歳を超えております。相続税が気になっています。

・親は子供の世話にはならないで、子供も親の世話をしたがらない世の中です。福祉に頼るならば、親の資産は子供に残さず福祉に使うべきではないでしょうか。

・年金制度がころころと変わることに対して不満を持っています。自分の将来が不安というのは、現在の生活を楽しむゆとりが持てない（私、個人の事でなく）。

・子供世帯と同居の場合、この調査はあまり意味がないと思う。親（70代）が世帯主になっていても生活費は両方で出し合っている。住居も共有なので親の考えで決めることは出来ない。世帯全体の収入も親と子あわせてのものであり、特に母親と同居で母が世帯主になっている場合は複雑である。

・現在長男夫婦と同居です。孫はいません。生活費は別ですが、息子はサラリーマンです。国民年金も満額ないので老後はすごく不安です。

・最近の事情として公的年金が制度としてなくなって行くのではないかと不安である。そのため自己で年金に変わるものを用意していかなければならないと思う。

・なるべく公的年金で生活し、子供に迷惑はかけたくありません。近所に一軒だけいろいろな事でいやがらせをする人がおりますので（私達にだけでなく）困っております。

・僅かなものでも、子供達に残してやりたいが、具体的には勉強不足で良く分かりませんが、相続税の軽減化を図ってほしい。

### 2. リバース・モーゲージ制度

・子供を当てにしないリバース・モーゲージ制度は良いと思います。資産があると兄弟ゲンカを数多く見ているので、老後は何も無い方が良い。

・土地（60坪）は通路はありますが道路に面していない為資産価値は低いと思われます。そのため、リバース・モーゲージ制度の活用は難しいと思いますし、抵抗もあります。

・今元気のうちは年金と預貯金の取り崩して賄っていますが、さらに使い果たし貯金がなくなるとリバース・モーゲージ制度に頼ることになります。(病気になったりした時には) 果して何歳にリバース・モーゲージ制度を申し込むか、その時は自分でできるか不安です。

・今まで病気にほとんどかかった事がなく健康でした。これからはそのような訳には参りません。ただ、どんな病気にかかるのか、その時にはどうなるのか、少しばかりの預貯金があってもどうしようもありません。リバース・モーゲージ制度は良いと思いますが、今始まったばかりで良さが実感できません。私の気持ちとしては、子供に家を残してあげたいと思っています。

・リバース・モーゲージ制度は、都内で武蔵野市や世田谷区他、少数と限らず、全区にわたって設けられるようになればよいと思います。

・長命、少子化の時代で資産活用・管理がむずかしくなると思う。管理能力が衰えた時、居住用不動産の限定なしにリバース・モーゲージ制度があっても良い

・リバース・モーゲージ制度は長生きをした場合どうなるのでしょうか？

・老後のことはまだ先のことと思っていましたが、毎日の生活におわれている現在、まず健康で、まわりに迷惑をかけないように努力するのみです。リバース・モーゲージ制度については、始めて知ったということで私には理解できかねます。年齢が増せば、もう少し分かるような気がしないでもありませんが不安でもあります。

・老後の面倒をみてくれた子供に資産を残したいが、入院等で多額の支出が必要となった時、リバース・モーゲージ制度があれば安心できます。信用ある民間企業といっても、現在の老人ホームや老人マンションなどを見ても利益を出すために望ましくない経営のところが聞かれます。公共機関で行う時は、お役所の事務的にならないことを希望します。

・リバース・モーゲージ制度を利用する場合公的機関にしろ民間機関にしろ、また体力的にも精神的にもだんだん衰えゆくわけなので信用する事が出来るかが重大なポイントだと思う。

・将来生活に困る事があつたら、リバース・モーゲージ制度を活用したいと思います。その際に詳しいことがわかればと思いますが、現在は考えられません。

・現状を見た上でアンケートにお答えしていましたが、資産活用とか、リバース・モーゲージ制度とか、利用するなど考えていません。母、子二人ですので、近い将来は外国で暮らす計画です。

- ・厚生年金の受給時確実に給付されるのが不安、またリバース・モーゲージ制度の内容（妻の権利）が理解できない。
- ・一部自治体、金融機関で実施されているようですが、あまり利用している人の話は聞いていません。もう少し国の機関やマスコミ等で幅広く宣伝し、我々にも理解しやすいようにして頂きたいと思います。
- ・リバース・モーゲージ制度を詳しく知りたい。年を重ねるのが不安である。
- ・リバース・モーゲージ制度をもっと良く知りたい。
- ・リバース・モーゲージ制度は良い制度だと思います。
- ・リバース・モーゲージ制度は個人の資産を将来自治体又は金融機関の所有にすることを目的にした制度ですか？理解することができませんでした。
- ・リバース・モーゲージ制度は、一般的には良いと思います。
- ・リバース・モーゲージ制度のPR不足と思います。パンフレット不足。
- ・リバース・モーゲージ制度についてあまり知らなかったので理解できなかった。
- ・リバース・モーゲージ制度のもっと有用なものがあれば掲示していただきたい。現世代の消滅とともに資産がなくなるのもどうかと思うので。
- ・リバース・モーゲージ制度には、かねて興味を持っていた。積極的に利用したいとは思わないが、老年の生活を安心感のあるものとしてくれる一つの要素にはなり得るだろう。
- ・リバース・モーゲージ制度については現在のところ余り考えていないが、老齢になってまた考え直すときが来るかもしれない。
- ・リバース・モーゲージ制度を利用したい。
- ・リバース・モーゲージ制度は良いことだと思う。住宅の資産価値が老人の場合改築修繕の資金も大変だと思うのでその辺を考えて欲しいと思う。
- ・リバース・モーゲージ制度は制度としては良いと思いますが、私は利用する気は全く起こりません。
- ・リバース・モーゲージ制度の運用主体を「民間資本」とすることは絶対反対です。「老人の資産」を「利潤の源泉」とすることは犯罪に等しい行為です。あくまで、委託の依頼・同意に基づく Non Profit の原則に従う、国あるいは地方公共団体のみが行うべきである。
- ・リバース・モーゲージ制度について詳しく知りたいと思います。
- ・リバース・モーゲージ制度というものについて、その存在さえ知りませんでした。人によっては便利な制度だと考えます。



・リバース・モーゲージ制度、大いに関心あります。自分たち（夫婦）の力で得た資産を自分たちのために使い切る。実に気分良く、働きがいもあるというものです。ただ、介護が必要となった場合などを考えると、老人ホームなどのほうが、子供に負担をかけなくて済むから良い。しかし、資産は残さないのに面倒をみてくれとは言いつらい。

・リバース・モーゲージ制度は制度として確立させることが望ましい。老後は一戸建てより、良質な集合住宅の方がよい（都心部）。民間が行い、公的機関はCHECKのみがBEST。

・リバース・モーゲージ制度はとても良いと思います。家屋の資産評価額がもっと高ければ利用させて頂きたいが、平成元年のバブル最高の時に買い、現在は3分の1の価値になってしまったので利用出来ないと思います。

・リバース・モーゲージ制度なる言葉ははじめて知った。内容の理解が出来ない。自分の資産を担保にしてまで借金や融資は考えない。なぜなら現在までコツコツと地道に築き上げて来たから。

・ゆっくりと落ち着いて考えますとリバース・モーゲージ制度が有りますと、いざという時は役立つことですので必要な制度ではないでしょうか。金利が良くなりますようにと思います。

・リバース・モーゲージ制度をもっと宣伝し、分かりやすく説明してほしい。

・現在借地ですが、この場合この制度の活用はどうなりますか。ご返事ください。

・現在、正に老後の生活にはいつている私達は、年金でそこそこの生活をしており、特別に資産活用もリバース・モーゲージ制度も考えています。

・この制度は大変結構なこととは思いますが、資産価値が低いため（借地）あてはまらない場合もあるのではないかと思います。又、決断する時に子供達とも相談しなければ相続の問題も出てくると思われます。預貯金も利息のない今日では、老後の健康に大して不安をかえてます介護制度が安心できる制度になることを期待しています。

・このような制度があるならば、高齢者本人にダイレクトメールを関係機関が時々送付するべきである。

・とりあえずは一戸建てに住んでいるので、世の中の動きを良く見極めつつ、リバース・モーゲージ制度や、その他、自分のライフスタイルに合わせて検討して行きたい。

・現状のリバース・モーゲージ制度は、子供や相続者のない人々に対する「特殊

な救済制度（一般人には関係のない）」と見られている。PR不足です。国も地方公共団体もより積極的にPRを行い、同制度の衆知徹底、普及、推進に乗出すべきだと思います。

・家屋老朽のため地震診断を受けた結果（少々危険）の評価・補修・新築と考えたが、資金の借入は年収・年齢などでできず、自己資金を使用し補修等をし、以降生活費の補てんにはリバース・モーゲージ制度の利用と思い、区に問い合わせましたが、資産価値5,000万円以上が対象とのことでした。定年までの今後10年間でいかに過ごすかで、リタイア後の生活が決まります。今回の調査で、初めて知った「リバース・モーゲージ制度」の学習も含め、しっかりとした老後の生活の骨組みを考えます。

・現時点では、制度について完全理解が出来ていませんので、不安です。立案は慎重を期する事。大いに研究してほしい。また、トラブルなど発生した場合責任を持って解決して貰えそうに思えるので、やはり公共機関が良い。

### 3. 行政への要望

・これからは単身世帯が増えると思われませんが、国のやる事でも安心出来ません。ましてや民間は特にです。この制度は良いと思いますが、始めの約束通り（たかえずに）行ってくれるのであれば、大賛成です。

・とにかく資産がないので考えようがありません。いくら高齢になっても賃貸でいいから住む家に困らない社会を望んでいます。私達高齢者のみならず、あらゆる人々に「選択の自由」があることが一番大切なのでより良い社会を作ろうとする時、予算や合理性を考慮する場合、そのことを考えて欲しいと思います。また、資産のある人、無い人、健康な人、身体の不自由な人、あらゆる人それぞれを尊重する考えがほしいです。

・老後の就業先の確保が困難。区の老人に対する制度が遅れている。（武蔵野市に移りたいと思う事もある。）

・公的福祉、住宅制度を充実させ、モーゲージ制度を公的な形で発展させ、将来は土地のせまい日本は土地を全て公的所有として、生きているときは財力に応じて借りるようにし、亡くなったら返却するのはどうでしょうか。

・国、地方団体等の政策の甘さがある。又、必要な支出が多く、議員の認識が（行政も）選挙をくぐると途端に現実から遊離しているものにも数の原理なのか、地元還元なのか分かりませんが、庶民から見ると、首をかしげるようなものにも支

出をして、得々としています。日本の都市行政は見た目、社会資本充実の点からも、一貫したものがないように見え、後進性を脱却できないでいます。真に情けないと思います。

・将来、母（74歳健康）との同居を考え、現在、家を建築中です。リバース・モーゲージ制度について全く理解しておりませんので意見は申し上げられませんが、自治体がしっかりと行うべきと考えます。家を持つことがあまりにも困難であると思われるます。介護問題も含め、高齢者が安心して住める家を整備することを望みます。

・住宅は生まれてすぐ必要な物ですので住宅ローンを安くして住みやすくしてほしいですね。

・土地が値上がりしたり、値下がりしたり、金利があったり、なくなったりするのではなく、安定した不安のない世の中にするため、政府は努力して欲しい。老人も人や国に頼るのではなく、心身共に健康に過ごせるようテレビなどを活用し、情報を常に流すようにし、テレビ一方通行ではなく、見ている人にもFaxなどで参加できるようにする。土地は、イギリスのように国有化し、家は借りた人が好きに建てられるようになったら、ばか高い日本の土地など、買う人がないようにしたい。

・老後の生活は基本的には公的に保証されるべきものと考え。小細工にはあまり興味ない。

・老後の生活、住居についての心配はほとんどない。これから先、ボケたら…というのが一番心配。母が100歳でなくなる前、5年間の姿を見ているから。現在、詳しく知りたいのは、介護保険についてである。

・有料老人ホーム等の経営難による倒産に対し、国の対応を強化して不安のないようにして欲しい。

・公的年金の行方次第で、私どもみたいな低所得者は、老後がとても心配です。地震対策など、もっと国に本腰をいれて頂きたい。安心して生活ができる地域社会にしてほしい。

・公定歩合がほとんど0に近いので、タンス預金になりがちです。老後を考えると物を買う気になれません。金利をあげればその配当で、物を買うようになり、景気の回復にもなると思う。政府は高齢者の預金金利を上げるように考慮してもらいたい。

・預金金利の正常化（利上げ）を望む。

- ・心の豊かな社会になって欲しい。

#### 4. 家族関係・人間関係

・母の家に子供と同居していますので、自分の家ではないけれども、まじめに持ち家のことについて考えたことはありませんでした。母がなくなったとき4人姉妹とどのように相続するかも分からず、今のところ余り身近な問題ではないのです。

・老人ホームの経営難での解散・管理会社等の倒産等、他人の人に会社には今の段階ではお願いできません。子供がいるため、次の世代とよく話し合う家族関係を築くのみに努力したいものです。

・テニス、山歩きを楽しみ、資産は常識で活用して居ります。資産は、子供にゆづるのでリバース・モーゲージ制度は考えてない。

・子供のいない人は良いが、家族のいる人は、老後家族と一緒に暮らす方が理想です。

・高齢者（若い時から予想していた通り）は子供に修士・博士課程と高い教育が受けられるように30年以上35年位援助、協力すればする程、経済的な親孝行は期待出来ませんね。

・幸い一緒に住んでくれる子供がおり、今の生活でまあ満足と言える状態ですが、家を利用した後、子供に少しでも残せたらと思います。

・古い考え方と思いますが、先祖代々の土地は子供に残してあげたいです。細々でも老後は自立できるよう今から努力するつもりです。

・子供に迷惑を掛けないで老後の生活を送りたい。

・体が動く内は働いた方が良いと思う。しかし、男は地縁性が乏しく、地域に何をして役立てるかが分らない。

・自宅資産価値を食っていくのもいいと思うが、子供にも残してやりたい。

#### 5. 社会との関わり

・今の社会（公にしる民間にしる）を見てるととても不安です。政治家も国家公務員も国民が安全に生活するための仕事をしていないように思えてならない。

・資産は一代にしてなるものではない。地球資産に億の年月がかかっている。一人の人生は100年たらずであろうが、人類の生命は、どのくらい続くか判らない。